

豆つぶし

プレミックスモルタル

特長

コンクリートの質感そのままに補修出来ます。ペースト状で塗りやすく、**豆カラー**で補修ヶ所のコンクリートに色を合わせる事も出来ます。また、セメント系なのでコンクリートとのなじみも良好です。

コンクリートと同質で補修ヶ所が目立ちません
雨に濡れても周囲の色と違和感がありません
調色して補修コンクリートと同色に出来ます

用途

コンクリート、2次製品の
ジャンカ(豆板)や傷の補修

適応塗り厚さ = シゴキ ~ 1mm

荷姿



NET・15kg
(12.0リットル/袋)

豆つぶし1袋の施工面積	
シゴキ塗り	約 30㎡
1.0mm厚	約 12㎡



豆つぶしはペースト状で厚く塗れません。厚く塗る場合は下地調整に **Pモル・B30** をお使い下さい。又、調色には**豆カラー**(無機顔料)をお使い下さい。

試験結果

試験項目	試験結果			試験方法	
容積・フロー値	800cc/kg・115mm			試料1kgに428ccの水を加えた場合の容積とフロー値	
材令	3日	7日	28日	JIS R 5201	
曲げ強さ	2.6	4.4	6.1		
圧縮強さ	13.0	22.6	33.0		
接着強さ	N/mm ²	1.0	1.0	0.7	建研式・コンクリート平板・プライマー塗布・水練り
		1.6	1.8	1.9	建研式・コンクリート平板・プライマー塗布・樹脂5%混和

試験結果の数値は技術情報として提供するもので、保証値ではありません。ご了承下さい。

コンビネーション材料

調色トナー **豆カラー**

耐アルカリ性と耐候性に優れた無機顔料の調色トナーです。シゴキ塗りしても顔料の糸引きはありません。



NET・1kg/袋

カラー

- 黄色
- 青色
- 茶色
- 黒色
- 白色

下地調整材 **Pモル・B30**

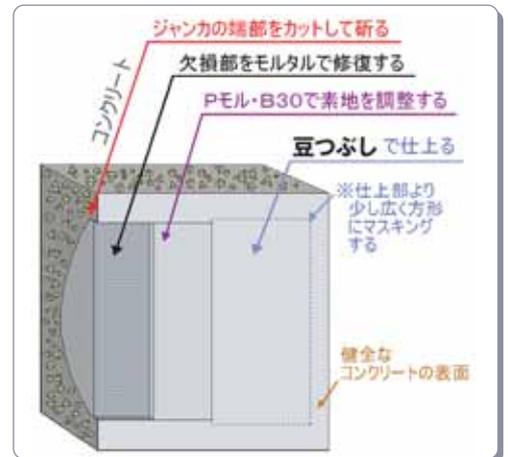
コンクリート色の既調合モルタルで、豆つぶしとの相性も良く、1mmを超える補修の場合の下地調整材に適しています。



NET・20kg
(11.8リットル/袋)

施工要領 **施工前に必ずお読み下さい**

始 め に	豆つぶしの主成分はセメントです。モルタルと同様に下記の点に留意して施工して下さい。	
	ドライアウト	ドライアウトを引き起こす要因の大半は下地コンクリートが塗り付けたモルタルの水分を奪ってしまう事です。コンクリートの吸水を防ぐには十分に水湿するか、プライマーを塗布する事が有効です。又、施工後に風に晒されるとドライアウトし易くなりますのでシート等で囲って風よけの養生をして下さい。
工 法	凍結防止	施工後に凍結すると硬化しなくなりますので保温して下さい。
	エフロ防止	エフロは低温、多湿な場所で発生します。材料のエフロ防止性能には限界がありますので、冬季(北面)の施工は保温、風よけの養生を行って下さい。
施 工	補修の工法は鑢押さえと削り成形の2種類があります。ジャンカの程度や仕上の程度によって使い分けます。調色する場合は事前に 豆カラー で着色したサンプル(塗り板見本)を作成して色を合わせます。	
	鑢押さえ	角鑢で所定の塗り厚さに塗り付け、平滑に仕上げます。締め具合を見計らいながら、周囲のコンクリートと同じ質感になる様、数回に分けて仕上げ鑢で押さえます。押さえ方は軽く、何度にも分けて押さえて表面の質感を出します。 メタルホームは硬押さえで、コンパネは甘押さえで仕上げます
施 工	削り成形	所定の塗り厚さに塗り付け、締め具合を見計らって角鑢を鋭角(15~30度)に立てて余分なモルタルを削り取って成形し、表面を軽く押さえて仕上げます。 小さなジャンカ、欠損とクレーター補修に適しています
	下地処理	下地コンクリートの汚れ、レイトンス、浮きを除去し、粉塵を掃除します。 ドライアウト防止の為に、水湿しかプライマー塗布の何れかを選択して施工します。 水 湿 し・施工の2~3時間前から、2~3回行います。余剰な水は拭き取ります。 プライマー・配 合・ PCボンド = 1 : 飲料水 = 3~7 (4~8倍液) 塗 布・刷毛塗り(100g/m ² 程度)して乾燥する迄待ちます。 下地の状態によって欠損部の修復や、下地の素地調整を行います。 欠損修復・下地コンクリートを十分に水湿しし、 左官モルタル で欠損部を修復します。 この場合プライマーは使いません。 下地調整・ Pモル ・B30を仕上面より少し控えて塗付け、表面を平滑に仕上げておきます。
施 工	調 合	豆つぶしに適量の飲料水を加え、十分に練り混ぜます。 調色する場合は前以て決めた配合(工法参照・添加する 豆カラー の色と量)で豆つぶしと空合わせして置きます。 PCボンド を混和する場合は2% (重量比)程度が適量です。
	塗 付 け	調合した豆つぶしを角鑢で1mm未満の厚さに塗付け、表面を平滑に押えます。
施 工	仕 上	締め具合を見計らって、選定した工法で仕上げます。
	養 生	シート等で雨よけ、風よけを施し、適温(10~30)で養生して下さい。



取扱上の注意

本製品はセメントを結合材とした業務用既調合モルタルです。粉塵が立ち易く、水に濡れると強アルカリ性を示します。取扱いに際しては保護具(ゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡など)を着用して下さい。誤って皮膚に付着した時は直ちに洗浄して下さい。又、洗浄しても皮膚に異常を感じた時や、眼に入ったり、吸引したり、飲み込んだりした時は、洗浄などの応急処置を施した上で専門医の診断を受けて下さい。

本製品に石綿、蛇紋岩、樹脂類、有機溶剤、有害量の塩分は一切混和していません。

豆つぶしのご用命は

1808-3000

製造元

受け継がれる自然の恵み

matsumoto **マツモト産業株式会社**

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市市小井 123
TEL0799-42-5000 FAX0799-42-6612

セメント事業部

〒656-0422 兵庫県南あわじ市榎列上頼多 853-1
TEL0799-43-2820 FAX0799-43-2821

URL: <http://www.matsumoto-group.co.jp>